

今年度より東京都では「とうきょうすくわくプログラム」がスタートしました。すくわくプログラムとは、全ての乳幼児の「のびる・育つ（すくすく）」と「好奇心・探求心（わくわく）」を応援するプログラムであり、乳幼児の豊かな心の育ちをサポートするための**主体的・協動的**な探求活動の実践を促進するものです。

★主体的とは？→ 自分の意志や判断に基づいて行動することを意味します。他者からの指示や強制ではなく、自らの考えや意志で行動する様子を指します。「主体的に取り組む」とは、自分で目標を設定し、自ら進んで行動することを意味しています。これに対し、指示を待って行動するのは「受動的」と言います。

子どもが主体的に取り組むというのは一斉保育と違い、個々の興味や関心の有無によって活動の向き合い方が変わります。制作活動をおこなうときにも環境設定や準備を工夫して、題材は同じでも一人ひとりの感性が表現されるようにしています。今の時期で言うと、クリスマス制作をおこなっています。材料やその色など、複数の種類を用意して自分で選べるようにしたり、幼児になると制作コーナーを設けて、子ども達が自分の時間（室内活動の自由時間）の中で自由に取り組むことが出来ます。

★協動的とは？→ 同じ目的のために、対等の立場で協力して共に働くことを意味します。他者と協力しながら成長し、社会的な変化に対応できる力を養います。協力の仕方も同じことを一緒にやるということだけではありません。

役割を決めて目標達成のために個々の得意な分野を活かして協力することもあります。



今年度、西原りとるぱんぷきんずが取り組むすくわくプログラムは、カモミール・マミー・年長は「音」、メリッサ・ハニー・年少・年中は「食育」について活動を展開していきます。

普段の子ども達の何気ない声を拾って次の活動に繋げたり、興味を持っている姿から保育士が環境を準備したりして進めていきます。

子ども達が、自分の考えや意志で行動出来るよう、問いかけ、深めていけるような環境を整えながら、引き続きサポートしていきます。

(田代)

【ご理解ください】

探究活動の実施では、子ども達の小さなつぶやきから保育を広げていくことを大切にしています。そのため、活動中の写真を子ども一人ひとり同じ枚数で掲載することに意識を向けながら保育することは極めて難しく、危険を伴うことになるかもしれません。子ども達のその瞬間の表情を大切に、活動内容の流れを皆さんに伝えていくことに重きを置きます。子ども個人の枚数を合わせるための写真や動画でないことをご了承ください。

